

主旨

「里山資本主義」の取り組みで全国からも注目を集めている真庭市では、すでにユニークな地域の文化活動が展開されています。しかし、その真庭市ならではの文化の独自性や、現代における価値に、地域住民だけでなく、文化に携わっている人々も気がついていないのではないのでしょうか。そこで、真庭市ならではの文化資源を改めて再発見、再評価し、市内外の文化に関わる人々の出会いと交流から、「里山文化 satoyama culture」の土壌を耕す人材を育成します。

目的

個性豊かな地域文化の継承・発展、新しい文化の創造を図るため、文化活動を担い、支援する人材の育成を行います。



第1回・秋 2018.11.10^{SAT}-11^{SUN}

コーディネーター：大澤寅雄氏、ゲスト講師：アサダワタル氏
会場：真庭市久世エスパスセンター

第1日目 11月10日(土) 受付 12:30~

13:00 ~ 15:00 | レクチャー「里山文化の生態系を考える」 大澤寅雄

「里山」と言われる地域に見られる多様な文化的な営みには、どのようなものがあるのか、どのように関わっているのか、何が「里山」には足りないのかを考えます。

15:30 ~ 17:30 | ワークショップ「自慢話を聞かせてください」 大澤寅雄

参加者のみなさんが所属している文化団体や、取り組んでいる文化活動について、お互いに「自慢話」を交換しあうことで、自分の団体や活動の長所を再発見し、真庭市の文化の特長を捉え直します。

18:00 ~ 20:00 | 懇親会

食事や飲み物を楽しみながら、リラックスした参加者のみなさんの交流機会とします。我こそは!という方は、ぜひ一芸をご披露ください。

第2日目 11月11日(日)

10:00 ~ 12:00 | 事例紹介「自称“文化活動家”のまなざし」 アサダワタル

音楽と言葉を手立てに、創造的で風通しのよいコミュニティづくりを全国各地で手掛けているアサダワタルさんをお迎えし、「文化活動家」としての実践を通じて、どのようなまなざしで地域を見つめているのか、お話をうかがいます。

12:30 ~ 13:30 | 昼食

昼食を食べながら、参加者のみなさんが「自分だけ知っている」と思う真庭市内の場所、物、人について情報交換をしましょう。

14:00 ~ 16:00 | ワークショップ「もっと自慢できるまちにしよう」 大澤寅雄

1日目のワークショップ「自慢話を聞かせてください」で出された文化団体や文化活動の自慢を、より多くの真庭市民とも共有して、地域全体が自慢できるようにするためにどうすればいいのか、参加者全員でアイデアを出し合います。



アサダワタル〔ゲスト講師〕

アーティスト、文筆家

1979年大阪生まれ東京在住。滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程満期退学、博士(学術)。オフィス事編kotoami代表、大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員。音楽や言葉を手立てに、人々の生活・コミュニティとくわめて近接した共創的表現活動(アートプロジェクト、ワークショップ)の実践と執筆研究に取り組む。自称「文化活動家」。著書に「住み開き 家から始めるコミュニティ」(筑摩書房)、「想起の音楽 表現・記憶・コミュニティ」(水曜社)ほか多数。

大澤寅雄〔コーディネーター〕



(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事、NPO法人STスポット横浜監事、九州大学ソーシャルアートラボ・アドバイザー。2003年文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ・シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。帰国後、NPO法人STスポット横浜の理事および事務局長を経て現職。共著=『これからのアートマネジメント"ソーシャル・シェア"への道』『文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと』『文化政策の現在3 文化政策の展望』『ソーシャルアートラボ 地域と社会をひらく』。

第2回・冬 2019.02.10^{SUN}-11^{MON}

コーディネーター：大澤寅雄氏、ゲスト講師：前田優子氏
会場：勝山文化往来館ひしお

第1日目 2月10日(日) 受付 12:30~

13:00 ~ 15:00 | レクチャー「里山文化の持続可能性を考える」 大澤寅雄

日本各地にある里山には多様な文化的な営みがありますが、少子高齢化や若者の流出によって、文化的な営みは衰え、消滅の危機のある集落も少なくありません。どうすれば、里山の文化を持続可能にできるのか、考えます。

15:30 ~ 17:30 | ワークショップ「困り事を聞かせてください」 大澤寅雄

参加者のみなさんが所属している文化団体や、取り組んでいる文化活動について、お互いに「困り事」や「悩み」を交換しあうことで、自分の団体や活動に何が必要なのかを考え、真庭市の文化の課題を捉え直します。

18:00 ~ 20:00 | 懇親会

食事や飲み物を楽しみながら、リラックスした参加者のみなさんの交流機会とします。我こそは!という方は、ぜひ一芸をご披露ください。

第2日目 2月11日(月・祝)

10:00 ~ 12:00 | 事例紹介「もうすぐあれから8年です」 前田優子

福島県いわき市の文化ホールのスタッフとして、ホールから地域に飛び出して文化芸術に触れる機会を生み出している前田優子さんに、東日本大震災をきっかけに文化や芸術を介して地域が変化してきた様子をお聞きます。

12:30 ~ 13:30 | 昼食

昼食を食べながら、参加者のみなさんが「自分だけ知っている」と思う真庭市内の場所、物、人について情報交換をしましょう。

14:00 ~ 16:00 | ワークショップ「10年後の真庭を想像しよう」 大澤寅雄

1日目のワークショップ「困り事を聞かせてください」を踏まえて、どのような改善策が考えられるのか、参加者全員で知恵を絞ります。そして、真庭市の文化団体や文化活動が、10年後にはどのようなになっているのかを想像しましょう。



前田優子〔ゲスト講師〕

いわき芸術文化交流館アリオス 企画制作課 コミュニティ事業グループチーフ

1970年生まれ、広島県安芸郡出身。

1993年~2003年、太鼓芸能集団「鼓童」国内制作部在籍。その後フリーランスにてコンサート企画制作およびアーティスト制作などを経て、2007年7月からいわき芸術文化交流館開設準備室に参加、現在に至る。

いわきアリオスでの業務のほか、パフォーマンス集団「十中八九」でも活動中。

真庭の文化を考える。

私の好きなこれ、真庭で文化にしたい!

里山資本主義とは...お金の循環を基本とした「マネー資本主義」のサブシステムとして、生きるのに必要なものがお金に依存せず、手に入られるシステムを再構築しておこうという考え方。